

●復活主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第九十八編」

主は来られる、地を裁くために。

主は世界を正しく裁き

諸国の民を公平に裁かれる。



## 人のために流される血

主が十字架におかかりになる前夜。最後の晩餐の席で、主は弟子たちに「あなたがたのうちの一人が、わたしを裏切ろうとしている」と告げました。すでに銀貨30枚で指導者たちに主を売り渡す約束を交わしていたイスカリオテのユダは、身に覚えがあるにもかかわらず「まさか、わたしのことでは」と誤魔化し、主を欺いていたのです。主は「人の子を裏切る者は不幸だ。生まれなかつた方がよかつた」と語られました。これまで3年間、主と共に歩み、そのみわざと福音に触れてきたにもかかわらず、天の国よりこの世の富を愛し、主を裏切ろうとしているユダ。主は人が滅びるのではなく、生きることを願っておられるお方です。「生まれなかつた方がよかつた」、その一言に滅びの道を歩んでいるユダへの深い悲しみが表れていたと思います。

主はパンと杯を取り、「これはわたしの体」「多くの人のために流されるわたしの血」と言われました。ユダもそれを受け取りながら、しかし主を裏切り、指導者たちのところに足を運ぶのです。主を捕らえ、彼らに引き渡しました。二度と主の前に姿を現すことなく、自ら命を絶つてしまうのです。自らの罪に気付かされる時、悪しき陰謀を思い直す機会が与えられていても主に立ち返らない。なお主の血と肉を受けて生きる道を示されても、その道を自ら断ち切ってしまったのです。

ユダの悪しきわざを通して、主は十字架へと進んで行かれます。不当な裁判、暴力を受け、十字架に磔にされるのです。手と足に釘を打たれたまま6時間、肉を裂かれ、血を流され、絶叫され、息を引き取られました。弟子ヨハネは十字架のそばで、そのお姿を見ていたのです。晩餐の時、「これはわたしの体。わたし

の血である」と言われた主が、人のために、自分たちのために血を流し、生贄となられるのを見たのです。

その後、弟子たちは主が定めた聖餐を通して、主の肉と血を受けて生きていきます。主の十字架を知った彼ら、主の血と肉によって、いま生かされていることを深く心に刻みながら、聖餐にあずかっていたと思います。その彼らは、もはやユダのように悪しき心のまま、人を欺き、己のために他者を犠牲にするような罪深い道を歩むことはできない。主がご自身を与えられたように、主が自分たちになしてくださったように、彼らもまた隣人のために自分を与えて生きていくのです。迫害、苦難にあつても忍耐し、自分たちを迫害する者のためにも真実をなし、人のために自分自身をささげる歩みを見つ直ぐに歩み続けたのです。

主の十字架、主の血と肉によって、人は生かされています。今があります。なお教会に連なる者たちは聖餐にあずかり、主の血と肉を受けて生きています。その中で、主の御前をどのように生きていくのかと問われ、かえりみさせられるのです。例えば、御言葉によって自分の罪や御心になわなを姿を示されながらも、その自分と真剣に取り組まず、悔い改めようとしなかつたら、それはユダのような誤魔化しではないでしょうか。もしそのような悪しき心に気づかされたなら、真つ直ぐに向き合い、その悪しきものが取り除かれることを願い求めていきたいと思えます。

その真実な心を保ちつつ、なお弟子たちのように、隣人のために自分自身を与え、他者を犠牲にするのではなく自分が代わりとなる生き方へと踏み出していきましょう。困難や悪意に直面しても善をなし、真実を尽くすこと。それこそ主の十字架と流された血、裂かれた肉が指し示している生き方です。十字架を心に刻みつつ、一層、主の御心にかなう者となることを目指し、信仰の歩みを続けていきましょう。

2026年度

## 教会全体課題

神さまによつて

示された新しい歩みの中で、  
キリストの体としての一致を  
祈り求める

ーコミュニケーション、交わり、  
伝道、学びなどを通してー

## 《今日のお知らせ》

○今日はイースターです。主イエスの復活を感謝し、礼拝をささげます。

○礼拝の中で、総会で選ばれた役員の任職式を行います。

○礼拝後、イースターを祝い、愛餐会の時を持ちます。場所は地下ホールです。

○運営委員会、各小委員会がそれぞれ行われます。

○八日(水)一〇時から礼拝堂で附属幼稚園の入園式が行われます。

## 《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

## 《コイノニア教育センター 有志の方々より》

ーコイノニアグッズ販売のお知らせー

本日、ケニアのママたちが作ったバッグやポーチなど、色鮮やかなコイノニアグッズとスィーツを販売いたします。子ども礼拝の後と主日礼拝の後、それぞれ20分ほど、デアコニアショップのそばでの販売です。どうぞお立ち寄りください。

## 《ルツの会より》

次週、礼拝後、ルツの会をカナルームで行います。民数記二二章から学びます。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。  
〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和  
します。

【詩篇九十八篇】 賛歌。

新しい歌を主に向かって歌え。

主は驚くべき御業を成し遂げられた。

右の御手、聖なる御腕によって

主は救いの御業を果たされた。

主は救いを示し

恵みの御業を諸国の民の目に現し

イスラエルの家に対する

慈しみとまことを御心に留められた。

地の果てまですべての人は

わたしたちの神の救いの御業を見た。

全地よ、主に向かつて喜びの叫びをあげよ。

歓声をあげ、喜び歌い、ほめ歌え。

琴に合わせてほめ歌え

琴に合わせ、楽の音に合わせて。

ラッパを吹き、角笛を響かせて

王なる主の御前に喜びの叫びをあげよ。

とどろけ、海とそこに満ちるもの

世界とそこに住むものよ。

潮よ、手を打ち鳴らし

山々よ、共に喜び歌え 主を迎えて。

(司・会)

主は来られる、地を裁くために。

主は世界を正しく裁き

諸国の民を公平に裁かれる。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・礼拝堂)

説教 「復活は愛のしるし」

聖書 マタイ22章23〜33節

説教者 吉村 和雄名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「心は燃えていたではないか」

聖書 ルカ24章28〜35節

説教者 宮間 彰広 兄

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讃美歌 154番 265番

説教 「殺してはならない」

聖書 出エジプト記20章13節

説教者 黄允湜 牧師





## イースター礼拝 (午前10時30分)

讃美歌	153番	147番
説教	「おはよう」	
聖書	マタイ28章1～15節(新約P.59)	
司式	山下 純一 兄	
聖餐司式	黄 允湜 牧師	
説教者	黄 允湜 牧師	

前奏曲「輝く朝、我は歌う、主イエスのみ名」  
D.R.ジ ヨウソソ

### ○讃美歌153番

#### 1.わがたまよ、きけ この知らせを

主はいま死より よみがえりて

勝利の旗 たかくかかげ

われをあめに まねきたもう

#### 2.わがたまよ 知れ このめぐみを

主はわがつみを ゆるしたまい

いさおしなき この身なれど

つきぬさちを あたえたもう

#### 3.わがたま つづけ 主のみあとに

主の愛われを とらえたれば

世のひとみな さからうとも

われになにの おそれかあらん

#### 4.わがたま ほめよ このみいつを

主はよろずをば ひとつとなし

かみのくにを つがせたもう

ハレルヤ 主は よみがえりぬ

アーメン

### ○聖歌隊による讃美

「ハレルヤ」 ヘンデル作曲

ハレルヤ！

全能の神 統(す)べたもう

ハレルヤ！

世の国々すべて

神とキリストの国となれり

主はとわに統べたもう

王の王 主の主に

主はときわに統べたもう

王の王 主の主に

ハレルヤ！

### ○讃美歌147番

#### 1.よろこびたたえよ 主は死にうちかち

陰府よりかえりぬ ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

#### 2.勝利の主むかえて たたえの花たば

みまえにささげよ ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

#### 3.きょうよりときわに つきせぬいのちは

この世をうるおさん ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

#### 4.いのちの主をほめ もろごえあわせて

この日をたたえよ ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

アーメン

聖餐曲「イエスキリスト、

我らの救い主、死に勝ち給うかた」

J.バ ッヘルバル

後奏曲「マルチア」 C.M.ガ イドール